

朝夕の涼しさが心地よい季節となりました。気付けば秋分の日も過ぎ、虫の音に秋の気配を感じる今日この頃。ひつじ雲やうろこ雲、澄み切った青空を見ると、季節の移ろいを確実に感じます。

最近、私が卒業した母校のホームページを見る機会がありました。

母校の校長先生は結構な頻度でブログを更新されています。本当にまめだなあと感心するとともに、自分には絶対まねできないとも思いました。教師の仕事のことや自分の教え子のこと、初恋のことまで書かれていたのには正直驚きましたし、しっかりと読ませてもらいました。その中で離任される先生の挨拶について書かれた「離任式」と題したブログに目がとまりました。

人に頼ることの大切さを、本校（私の母校）で気付かされたという離任の挨拶を聞かれた校長先生は、見えないところで自身の失敗をフォローしてくれていた諸先輩の先生方に思いを馳せたという内容でした。そのブログの最後に書かれていたのが、以下の文です。

「頼る力」。言い換えるならばそれは「感謝を示す力」であり、「生きる力」だ。一生懸命に努力しておれば、つまずいても、誰かが手を差し伸べてくれる。

2学期始業式にあった生徒指導部長訓話の一部を、正門前掲示板でも示しています。分散登校が終わり時差があるとはいえ、全員が学校へ集うようになった今、みんなの一生懸命を集めて沢山の智恵を出していけることを願っています。